

グリュックの集い

7月号
地域支援活動
グリュック保育園
047-424-3741

グリュック保育園では地域への貢献活動として保育園を開放し、様々な人に出会いと交流の場を提供しています。また、ホームページでは、地域活動としてわらべうたや季節の歌を配信しています。親子で楽しんでみてはいかがでしょうか。

HPをご覧ください →



◆ 砂場開放

毎週木曜日 10:00~11:30、園の砂場を開放しています。予約不要
連日気温が高く、園では熱中アラートを使用し、外遊びの中止の判断しています。開放は引き続き行いますので、ご家庭の判断でお越しください。絵本の貸し出しも行っていきます。絵本だけの方も大歓迎！

◆ 公園紙芝居

8月は猛暑が予測されるためお休みします。残暑にもよりますが、9月から再開予定です。今しばらくお待ちください。

◆ 身体測定

園で毎月行っている身体測定（身長・体重）を地域のお子様にも広げました。数名の方がご利用されています。測定値をカードに記入しお渡ししていますので、お気軽にお立ち寄りください。7月29日(月) 10:30~11:30 予約不要

☆ ひがふなヒストリー 事務長（宮本小・中卒業）の地元愛あふれる連載コラム！

ひがふなヒストリー Vol. 6

地方競馬の船橋競馬場は、1950年・昭和25年開設です。競馬開催期間は、駅から競馬場へ向かう、または競馬場から駅に向かう人の群れであふれています。私は残念ながら、一度も行ったことがありませんが……。1969年・昭和44年6月には、競馬場のそばに「若松中」が開校し、2年生の途中で宮本中から友達が去って行ってしまいました。競馬騎手の子のY君、W君の2人（2人も騎手になりました）が、私のクラスからは転校してしまいました。学年は3年生になるときに8クラスから7クラスに減って、クラス替えがありました。若松中開校の前には、宮本中の生徒が歩いて行って、校舎の掃除をしたことをよく覚えています。現在、ときどきカメラ観察、草すべり、アスレチックなどで利用する「若松公園」は若松小・中の隣にあります。

2020 12月号



ひがふなヒストリー Vol. 7

「宮本」の地名は、宮本5丁目にある船橋大神宮のたもとの意。その正式名称は、意富比（おおひ）神社といい、西暦110年（弥生時代）創始の歴史ある神社です。ちなみに卑弥呼が歴史に登場するのが189年です。御祭神は天照皇大御神（あまてらすすめおおみかみ）であり、日本武尊（やまとたけるのみこと）が東国平定の折に祈願したという由緒正しい神社でもあります。でも、やはり私の遊び場でした（大神宮にお勤めの保護者の方、スママセン）。境内には県の有形民俗文化財に指定されている、明治13年に地元漁業関係者が建設した「灯明台（とうみょうだい）＝灯台」が、12mの高さを誇り、第2次大戦まで夜間の航海の安全を保っていたようです。普段は非公開ですが、毎年成人の日には新成人の代表数名が点灯する「灯明台祭」が行われます。また、その昔、徳川家康が相撲を観戦したという土俵もあり、毎年秋にはちびっこ相撲が開かれています（大人の部も）

